グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託（豪ドル建て）

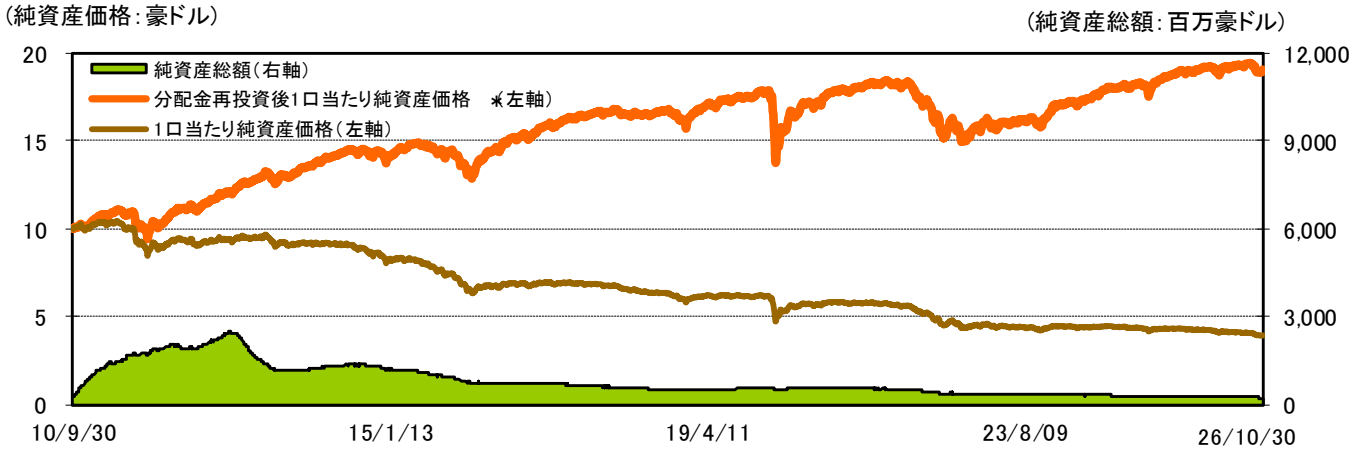
ニッポン・オフショア・ファンズ - グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド　豪ドルヘッジ・豪ドル建てクラス受益証券



データ基準日：2026年10月30日

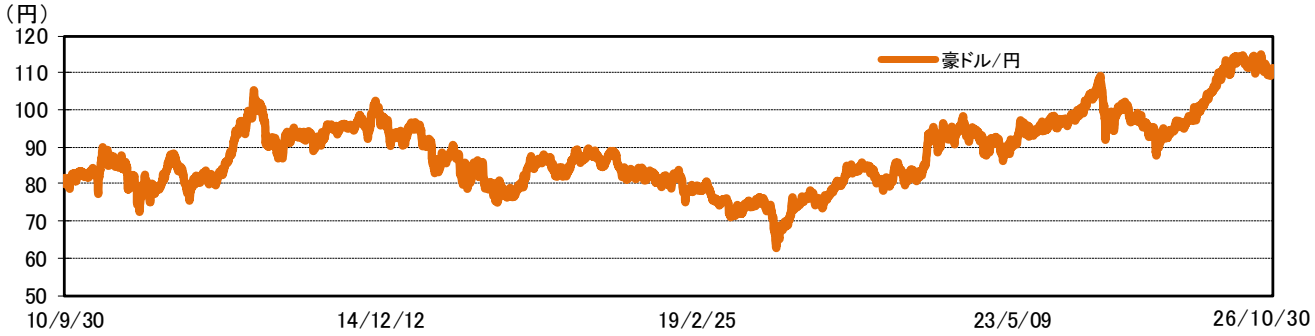
［1口当たり純資産価格］　3.90　豪ドル　　［純資産総額］　220.5　百万豪ドル［設定日］2010年9月30日

■1口当たり純資産価格および純資産総額の推移（設定来）



＊　課税前分配金を再投資したと仮定して計算した1口当たり純資産価格です。当ファンドは再投資コースはございません。投資家の方が実際に受け取ることができる収益を表すものではありません。

■為替の推移（豪ドル/円）



出所：ブルームバーグ

■分配金再投資後1口当たり純資産価格＊の騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.26%	−1.26%	−0.78%	0.18%	19.65%	4.55%	89.66%

＊　課税前分配金を再投資したと仮定して計算した1口当たり純資産価格の騰落率です。当ファンドは再投資コースはございません。投資家の方が実際に受け取ることができる収益を表すものではありません。

■分配実績（1口当たり、課税前）（豪ドル）

2025年11月	0.030	2026年5月	0.030
2025年12月	0.030	2026年6月	0.030
2026年1月	0.030	2026年7月	0.030
2026年2月	0.030	2026年8月	0.030
2026年3月	0.030	2026年9月	0.030
2026年4月	0.030	2026年10月	0.030
		直近1年間合計	0.360
		設定来合計	11.050

※　運用状況によっては分配金が変動する場合、あるいは管理会社の判断により分配を行わない場合があります。

■1口当たり純資産価格の変動要因（概算）（豪ドル）

債券インカム	0.02
債券キャピタル	−0.01
為替ヘッジプレミアム/コスト	0.00
分配金	−0.03
信託報酬等	0.00
合計	−0.02

※　上記の要因分解は、一定の仮定のもとに投資運用会社が試算したものであり、直近1ヵ月の1口当たり純資産価格騰落額の要因を豪ドルにて表示しております。

■組入状況

債券	99.18%
キャッシュ等＊	0.82%
合計	100.00%

＊　合計から債券比率を差し引いたものを表示しており、キャッシュのほか、未収金・未払金等を含みます。
※　上記比率はファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

注）グラフ・数値は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託（豪ドル建て）

ニッポン・オフショア・ファンズ - グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド　豪ドルヘッジ・豪ドル建てクラス受益証券



データ基準日：2026年10月30日

■ポートフォリオの概況

■特性値

※　下記の特性値は、ファンドが組み入れている債券部分の状況を示しています。

組入銘柄数	282
平均クーポン	6.68%
平均最終利回り	7.57%
平均デュレーション	4.07年
平均残存年数	5.99年
平均格付*	BB−

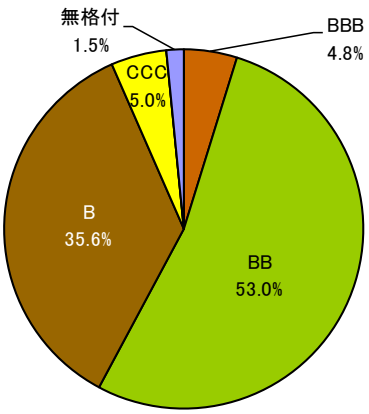
＊　平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

ご参考

為替ヘッジプレミアム/コスト込み最終利回り	8.58%

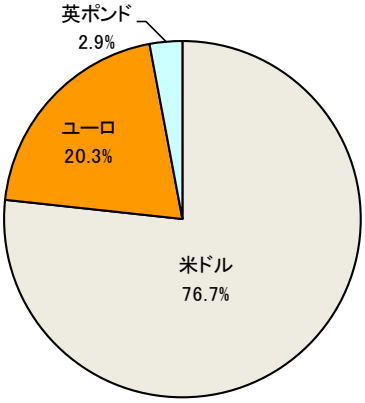
※　為替ヘッジプレミアム/コスト込み最終利回りは、左記の平均最終利回りに、データ基準日における豪ドルと、豪ドル以外の投資対象通貨の短期金利差を加算して推計しております。

■ポートフォリオの格付別比率



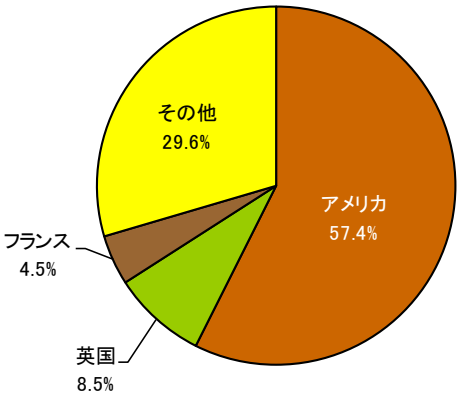
※　格付はS&P、Moody's のうち、いずれか高い格付を採用し、S&P表記法で記載しています。

■通貨配分比率（為替ヘッジ前）

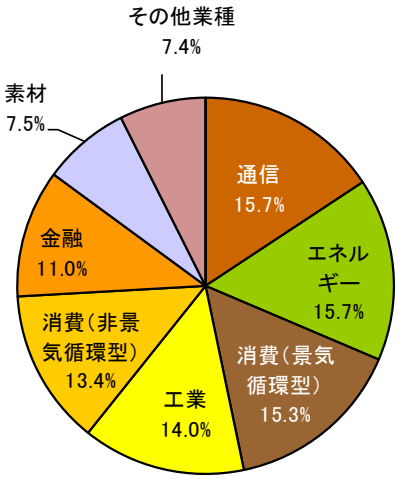


※　上記は為替ヘッジ前の通貨配分を示しており、実際のポートフォリオでは、豪ドル建て以外の資産についてはすべて対豪ドルで為替ヘッジされます。

■国別投資比率



■業種別比率*



■組入債券上位銘柄

銘柄名	業種*	組入比率
Fibercop SpA	通信	0.9%
Antero Midstream Partners LP / Antero Midstream Finance Corp	エネルギー	0.8%
Tenneco Inc	消費（景気循環型）	0.8%
Miller Homes Group Finco PLC	消費（景気循環型）	0.8%
TransDigm Inc	工業	0.8%
FTAI Aviation Investors LLC	工業	0.7%
Via Celere Desarrollos Inmobiliarios SA	金融	0.7%
TenneT GmbH & Co KG	公益事業	0.7%
Odfjell Rig III Ltd	エネルギー	0.7%
Carnival Corp Ltd	消費（景気循環型）	0.7%

＊　業種はブルームバーグの業種分類に基づいて作成しています。

※　上記の各種比率は、ファンドが組み入れている債券部分を100%として計算した値です。
各種比率の数値は、小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。

注）グラフ・数値は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託（豪ドル建て）

ニッポン・オフショア・ファンズ - グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド　豪ドルヘッジ・豪ドル建てクラス受益証券



■ハイイールド債券市場動向

データ基準日：2026年10月30日

10月のハイイールド債券市場は小幅に下落しました。世界のハイイールド債券市場全体の動きを表す代表的な指数であるICE BofA・グローバル・ハイ・イールド指数（現地通貨ベース）の月間騰落率は-0.10%でした。

世界国債市場は総じて堅調に推移しました。米国では、月前半はインフレ懸念や金融政策を巡る警戒感が意識されたものの、その後はハイテク株やAI関連銘柄の下落をきっかけとしたリスク回避姿勢の強まりから、安全資産として米国債が買われました。加えて、米連邦準備理事会（FRB）が追加利上げを急がないとの見方が広がったことも、金利低下要因となりました。欧州市場においても、ハイテク株主導の世界的な株安を受けたリスク回避姿勢の強まりから安全資産需要が高まり、独国債は堅調に推移しました。また、欧州中央銀行（ECB）が10月会合で政策金利を据え置いたことなども相場を下支えし、月を通じて利回りは低下しました。米10年国債利回りは4.93%（前月末比-0.36%）、ドイツ10年国債利回りは3.32%（同-0.27%）で引けました。ハイイールド債券市場は、エネルギー価格の高騰や軟調な株式市場を受けたハイイールド社債の基準金利に対する上乗せ利回り（スプレッド）の拡大から、総じて上値の重い展開となりました。

■通貨市場動向

豪ドルは、前月末時点の1豪ドル＝109.50円から、当月末には110.63円（+1.13円）へ上昇し、月間の騰落率は+1.03%となりました。

当月の豪ドル/円相場は、1豪ドル＝109円台半ばで取引を開始した後、月前半は日本当局による為替けん制発言が円を下支えする一方、豪州準備銀行（RBA）の追加利上げ観測が豪ドルの買い材料となる中、一進一退の推移となりました。月の半ばにかけては、日銀の小枝審議委員が「利上げに過度に慎重になることはない」などタカ派的な発言をしたことなどから円買いが進み一時1豪ドル＝108円台まで豪ドルが下落しました。月後半にかけては、市場の底堅いリスクセンチメントを背景に豪ドルが選好され1豪ドル＝111円台まで上昇しましたが、月末にかけては日銀の金融政策決定会合を控えた円買いや、世界的なハイテク株安を受けたリスク回避の動きから豪ドルが下落し、結局1豪ドル＝110円台で月末の取引を終えました。

■今後の見通しと投資戦略

当ファンドにおいては、引き続き長期的な資産価値の向上を狙いながら、一方で安定的な毎月の分配金のお支払いを目標に投資を継続して参ります。豪ドル建て以外の組入れ資産については、対豪ドルでヘッジを行い、為替リスクの低減に努めます。

米国では、拡張的な財政政策やAI投資が引き続き景気を下支えし、今後も緩やかながら底堅い経済成長を見込んでいます。一方で、中東情勢などを背景とした原油高が続く場合には、景気の下振れとインフレ上振れのリスク要因となるでしょう。米国債利回りは変動を伴いつつも、今後1年では緩やかに低下すると想定しています。ユーロ圏では、実質賃金の改善や財政面での支援余地があるものの、景気拡大は引き続き力強さを欠く見通しです。ドイツ国債利回りは今後も高めの水準を維持する見込みであり、フランスをはじめとする財政・政治面の不透明感が、欧州債券市場の変動要因となる可能性に留意が必要です。

ハイイールド債券市場は、地政学リスクやインフレ動向、エネルギー価格の高止まり、主要中銀の金融政策動向などを睨みながら、短期的に不安定な動きが続く可能性があります。しかしながら、堅調な企業業績のほか、高利回り資産に対する投資家の需要が存在していることなどから、中期的に底堅い推移を予想します。

当ファンドでは、当面は市況動向を注視しつつ慎重な投資スタンスを維持する方針ですが、信用リスクに配慮しながら、毎月安定的な分配が行えるよう、組入れ銘柄の選定を行ってまいります。

豪州では11月初旬に開催されたRBAの金融政策決定会合において、市場予想の通り政策金利を0.25%引き上げ、4.85%とすることを決定しました。RBAは様子見姿勢を強め、当面は足元の金利水準を維持するとみられます。そうした中、豪ドル/円相場は、今後もRBAや日銀の金融政策に加え、中東・ウクライナ情勢などの地政学リスクの影響を受けて変動が大きくなる可能性があるとみています。しかしながら、日豪金利差は投資妙味のある水準にあることなどから、中長期的には堅調な地合いを維持すると予想します。

※　当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託（豪ドル建て）

ニッポン・オフショア・ファンズ - グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド　豪ドルヘッジ・豪ドル建てクラス受益証券



データ基準日：2026年10月30日

■ファンドの特色

特色1	■ 主に世界のハイ・イールド債券に投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と、中長期的な信託財産の成長を目指します。
特色2	■ 受益証券は豪ドル建てです。 ※ファンドは、米ドル建てで（ファンドが組入れる米ドル建て以外の資産については、米ドルへの為替ヘッジを図ります）、米ドルから豪ドルへの為替ヘッジを図ります。
特色3	■ 原則として、毎月分配を行います。 ※管理会社の判断により、分配を行わない場合があります。

■ファンドの主なリスクおよび留意点

当ファンドは、主に外貨建債券等を投資対象としますので、金利変動等による当該債券等の価格下落や、当該債券等の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、ファンドの受益証券１口当たりの純資産価格が下落し、損失を被ることがあります。また、ファンドの純資産価格は外貨建てで算出されるため、換金時の円貨受取額が円貨投資額を下回る可能性があります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、損失が生じることがあります。これらの運用および為替相場の変動による損益は、すべて投資家の皆様に帰属いたします。投資信託は預貯金と異なります。以下は、ファンドの主な投資リスクについての記述であり、ファンドへの投資に伴うリスクを完全に説明することを意図したものではありません。

金利の変動リスク

債券は、市場金利の変動により価格が変動します。一般に金利低下時には価格が上昇し、逆に金利上昇時には価格が下落する傾向があります。その価格変動は、債券の残存期間・発行条件等により異なります。

債券に関する信用リスク

当ファンドは格付の低い債券に投資します。格付の低い債券とは、S&Pによる格付がBBB未満、またはMoody’sによる格付がBaa未満の証券をいいます。格付の低い債券は、経営状況、財務状況または経済状況の悪化によって発行体が適時に元利金を支払うことができなくなる場合があります。また、債券の格付が低ければ低いほど、そのリスクは大きくなります。発行体の元利金の支払い能力が著しく低下した場合または低下が予測される場合には、当該債券の価格に影響を及ぼすことがあります。

外国為替市場とヘッジに関するリスク

外国為替取引のリスクには、為替レートの変動リスク、金利の変動リスクおよび外国政府による規制や介入等が含まれます。為替ヘッジに用いる取引の値動きとヘッジ対象となるポートフォリオ中の資産の値動きとの相関性の度合いは変化することがあります。このような場合、意図する為替ヘッジを達成することができないか、または損失のリスクにさらされる可能性があります。

上記の他に、「為替先渡予約と為替取引に関するリスク」、「派生商品に関するリスク」、「先物取引に関するリスク」、「投資ポートフォリオの流動性に関するリスク」、「取引相手のリスク」、「店頭取引における規制の欠如と取引相手のリスク」等があります。重要事項および留意点は以上に限られるものではありませんので、くわしくは最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧いただき、十分にご確認いただきますようお願い致します。

お申込の際は、販売会社よりお渡しする最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託（豪ドル建て）

ニッポン・オフショア・ファンズ - グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド　豪ドルヘッジ・豪ドル建てクラス受益証券



データ基準日：2026年10月30日

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、1口当たり純資産価格は下がります。

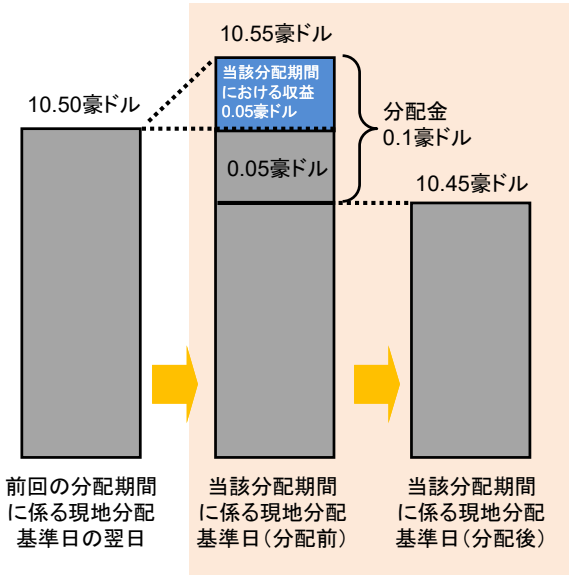
投資信託で分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、分配期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当該分配期間に係る現地分配基準日（分配後）における1口当たり純資産価格は、前回の分配期間に係る現地分配基準日の翌日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配期間は、現地分配基準日の翌日から次回の現地分配基準日までの期間をいいます。

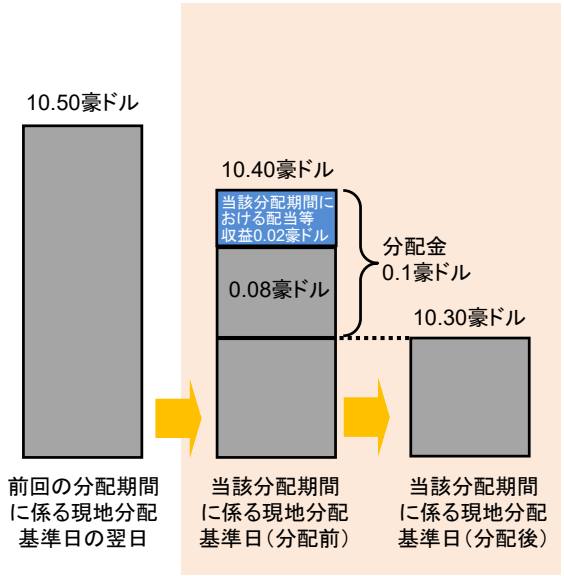
分配期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前回の分配期間に係る現地分配基準日の翌日から1口当たり純資産価格が上昇した場合



（注）当該分配期間に生じた収益以外から0.05豪ドルを取り崩す

前回の分配期間に係る現地分配基準日の翌日から1口当たり純資産価格が下落した場合

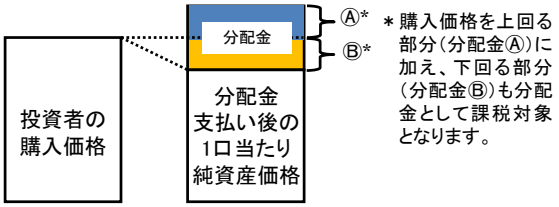


（注）当該分配期間に生じた収益以外から0.08豪ドルを取り崩す

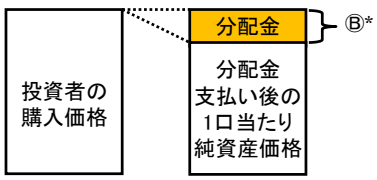
※分配金は、ファンドの分配方針に基づき支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や1口当たり純資産価格を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 投資者のファンドの受益証券の購入価格によっては、以下のとおり、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンドご購入後の運用状況により、分配金額より1口当たり純資産価格の値上がりが小さかった場合も同様です。この場合、当該元本の一部払戻しに相当する部分も分配金として分配課税の対象となります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



（注）分配金に対する課税については、本レポートの「お申込メモ」の「課税関係」をご参照ください。

グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託（豪ドル建て）

ニッポン・オフショア・ファンズ - グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド　豪ドルヘッジ・豪ドル建てクラス受益証券



データ基準日：2026年10月30日

お申込メモ

信託設定日 信託期間	2010年9月30日（木） 2153年10月13日（土）まで
お取引可能日	ニューヨーク、ルクセンブルグ、シドニー、および日本の全てにおける銀行、および日本における金融商品取引業者が営業を行う日 (土曜日、日曜日を除きます。)
購入単位 購入価格 購入代金の支払日	100口以上10口単位 原則として、ご購入申込日に計算される1口当たり純資産価格 (当初申込期間におけるご購入価格は受益証券1口当たり10豪ドルです。) 日本におけるお申込日
換金単位 換金価格 換金代金の支払日	1口以上1口単位 原則として、ご換金申込日に計算される1口当たり純資産価格 原則として、日本におけるお申込日から起算して日本における7営業日目からお支払いします。
決算日 収益分配	毎年5月31日 現地分配基準日：毎月15日 ニューヨーク、ルクセンブルグ、シドニー、または日本において銀行または日本における金融商品取引業者が休業日にあたる場合には翌営業日。 分配金支払日：毎月25日頃となる予定です。 ただし管理会社の判断により、分配を行わない場合があります。
課税関係	ファンドは税法上、公募外国公社債投資信託として取り扱われます。なお、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）の「手続・手数料等」をご覧ください。

ファンドの諸費用

ファンドのご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

【ご購入時、ご換金時にお客さまにご負担いただく費用】

購入時手数料	ご購入時のお申込手数料はかかりません。 ※ただし、管理会社から日本における販売会社に対して当初の購入価額に対して4.00% が支払われます。なお、上記の日本における販売会社に支払われる金額は、ファンドの保有期間中に発生する販売管理報酬および途中換金時にかかる条件付後払い手数料をもって、受益者が実質的に負担することになります。
条件付後払い手数料	保有期間は、ご購入日が属する月の翌月1日から算出が始まります。条件付後払い手数料は、[**ご購入時の価格**×ご換金口数]に以下の料率をかけて算出されます。 保有期間 / 条件付後払い手数料 2年以内 / **4.0%** 2年超3年以内 / **3.0%** 3年超4年以内 / **2.0%** 4年超5年以内 / **1.0%** 5年超 / **0.0%**
信託財産留保額	かかりません。

【保有期間中にお客さまに間接的にご負担いただく費用】

管理報酬	日々の純資産総額に対して、**年率1.90%**を乗じた額がファンド資産より控除されます。以下、内訳（年率表示）です。			
	管理・投資運用報酬	0.60%	代行協会員報酬	0.10%
	販売報酬	0.25%	販売管理報酬	0.85%
	管理事務代行報酬	0.06%	保管報酬	0.04%
受託報酬	ファンドの日々の純資産総額に対して**年率0.01%(ただし最大年間報酬額は7,500米ドル)**			
その他費用・手数料	・取引手数料　・目論見書の作成、印刷費用 ・弁護士費用　・監査費用 ・税金　・ファンドの設立費用等 上記のその他の費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。上記手数料等は、一部の費用等が実費となる場合があるため、これらを合計した料率もしくは上限額等を表示することができません。			

※　手数料および費用等の合計額およびその上限額ならびにこれらの計算方法については、ポートフォリオの運用状況や受益証券の保有期間等に応じて異なるため表示することができません。

※　くわしくは最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込に際してのご留意事項

○投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。○投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。○投資信託は預金ではありません。○投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。○三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。○三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は管理会社が行います。○外国投資信託のお取引にあたっては外国証券取引口座の開設が必要になります。

※　投資信託のご購入、換金にあたって円貨から外貨または外貨から円貨への転換の際は、為替手数料が上記の各種手数料とは別にかかります。購入時と換金時の適用為替相場には差があるため、為替相場に変動がない場合でも、換金時の円貨額が購入時の円貨額を下回る場合があります。

お申込の際は、必ず事前に最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託（豪ドル建て）

ニッポン・オフショア・ファンズ - グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド　豪ドルヘッジ・豪ドル建てクラス受益証券



データ基準日：2026年10月30日

管理会社、その他関係法人

＜管理会社＞BNYメロン・インターナショナル・マネジメント・リミテッド：ファンド資産の運用・管理、ファンド証券の発行、買戻し業務を行います。
＜投資運用会社＞BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社：ファンドに関する投資運用業務を行います。
＜副投資運用会社＞インサイト・インベストメント・マネジメント（グローバル）リミテッド(注)投資運用会社から委託を受け、ファンドに関する副投資運用業務を行います。
＜受託会社＞CIBCカリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド：ファンドの受託業務を行います。
＜管理事務代行会社／保管会社＞SMBC日興ルクセンブルク銀行株式会社：ファンドに関して管理事務、登録および名義書換ならびに保管業務を行います。
＜代行協会員＞SMBC日興証券株式会社：代行協会員としての業務を行います。
＜販売会社＞株式会社三井住友銀行：日本におけるファンド証券の販売・買戻しの取扱業務を行います。

（注）2026年4月1日付で、副投資運用会社がビーエスピー・エヌワイ・エルエルシーからインサイト・インベストメント・マネジメント（グローバル）リミテッドに変更されました。

- 当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- お申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。
- 受益証券の価格および分配金は下落または上昇し、受益者は投資した元本のすべてを回収することができない場合があります。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ファンドは、主に外貨建債券等を投資対象としますので、金利変動等による当該債券等の価格下落や、当該債券等の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、ファンドの受益証券1口当たりの純資産価格が下落し、損失を被ることがあります。また、ファンドの純資産価格は外貨建てで算出されるため、換金時の円貨受取額が円貨投資額を下回る可能性があります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、損失が生じることがあります。
- 当ファンドは、預金商品や保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当ファンドは、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。
- 当資料に掲載されている情報およびデータ等は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性や完全性および公平性を保証するものではありません。
- BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社は本資料において見解や意見を掲載しておりますが、これらは変更される場合があります。
- 当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会／日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 管理会社
BNYメロン・インターナショナル・マネジメント・リミテッド

■ 投資運用会社

BNY | INVESTMENTS

商　号　等：BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第406号
加 入 協 会：一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会